

令和4年度

ぶん かげいじゆつ こ ども いくせい すいしん じぎょう じゆんかい こうえん じ ぎょう
文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—



〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 1-4-18
稲穂ビル 202
TEL 03-6380-2852
FAX 03-6380-2853
E-mail atomw@pop12.odn.ne.jp
URL http://www.atomw.co.jp

げきだん しょうかい そうぞう そうぞう
劇団 あとむの紹介「想像から創造へ」

げきだん あとむは 1984年、演出家 関矢幸雄氏を創造リーダーに、クニ
かわらし おんがくかんどう むか ほつそく こ ひつよう
河内氏を音楽監督に迎え発足しました。子どもに必要なのはみだてる
ちから そうぞうりよく つちか
力「想像力」です。その「みだてる力」を培うため、ジャンルにとら
われぬ自由な発想で芝居作りをしています。
こ ひと むげん かのうせい かん と すべ はいゆう
子どもたちが「人」の無限の可能性を感じ取れるよう、全て俳優たち
の生の演奏による音楽劇であり、新鮮で生き生きした舞踊的表現も
なま えんそう おんがくげき しんせん い い ぶようてきひょうげん
くし かんせい そだ ちが にんげん い かな おも
駆使します。ゆたかな感性を育てることは、違う人間の生き方を思い、
みと とも い あ せかい つく ちから そうぞう ちから そだ
認めあい、共に生き合う世界を作る力（創造する力）を育てることと
かくしん つく つづ
確信して、創り続けています。

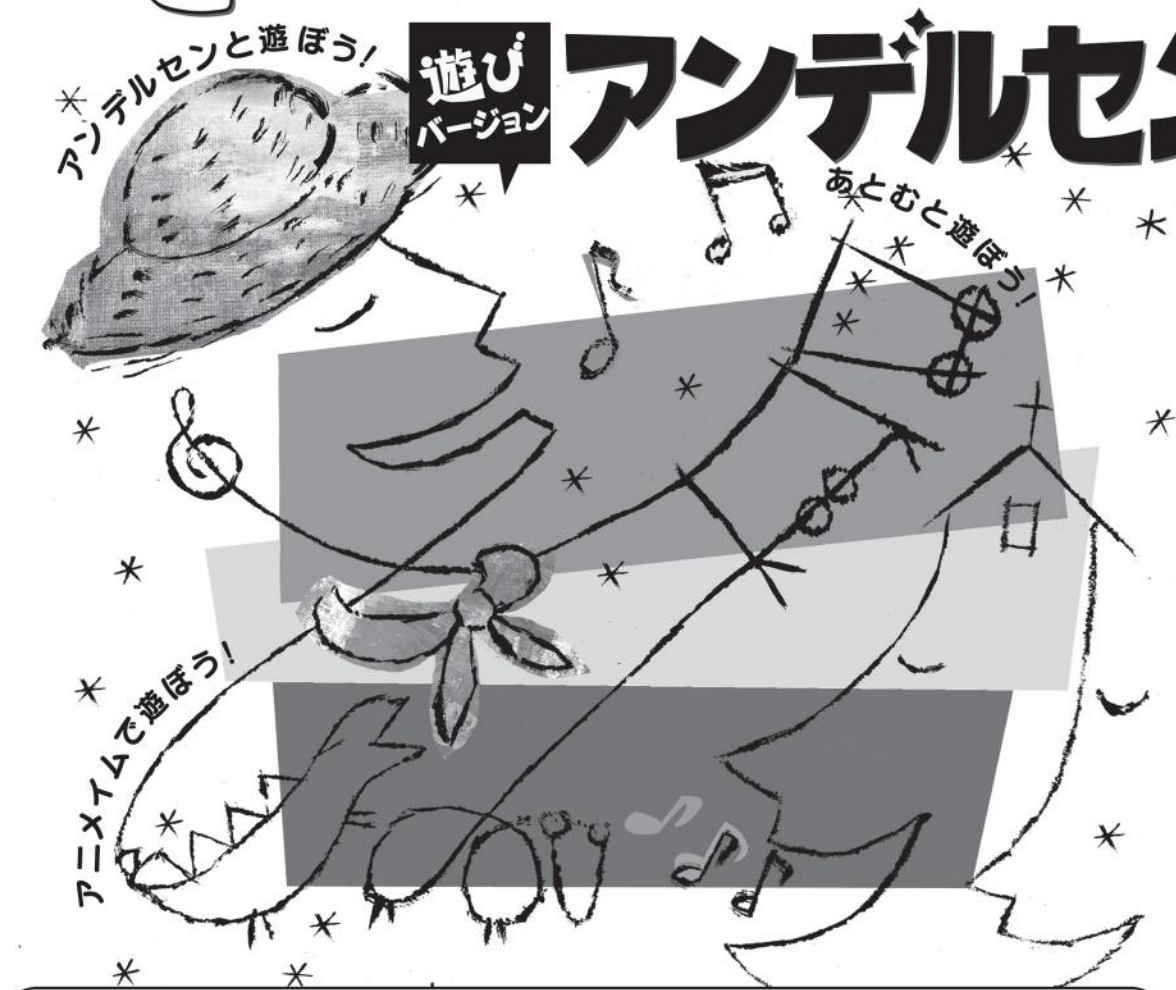
し
知ってますか？ ~10月1日は「国際音楽の日」です。~
がつついたち こくさいおんがく ひ

ねん 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、
せかい ひとびと おんがく つう おたが なかま ころりゆう ふか こくさいおんがく ひ
世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

にほん 日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



あとむの時間は
遊びバージョン アンデルセン



ぶん かげいじゆつ こ ども いくせい すいしん じぎょう じゆんかい こうえん じ ぎょう
「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」

わが国に一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞す
る機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国
民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ
子供たちにも参加してもらいます。



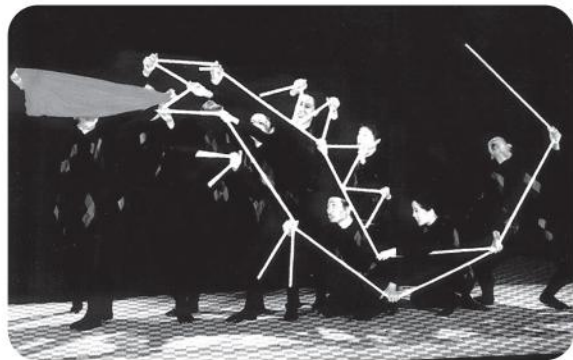
● この劇を創った人たち ●

原作 (劇のもととなる話をつくった人) **H.C.アンデルセン**
構成・演出 (セリフや俳優の動きをつくった人) **関矢 幸雄**
音楽 (曲をつくったり、演奏や歌の指導をした人) **クニ 河内**
美術 (舞台の装置をデザインした人) **有賀 二郎**
制作 (劇を企画した人) **秋山 英昭**

● この劇に出演する人たち ●

楠 定憲 **小嶋 京子**
織田 晴光 **京本 幸子**
林 大介 **三浦 美穂子**
原田 邦治 **高橋 由布子**
野口 徹 **黒木 幸枝**
藤石 夏菜

(ダブルキャストあり)



劇について

『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』は、アンデルセンの沢山のお話の中から選んだ、ふたつのお話、歌もいっぱい、アニメイムもいっぱいの音楽劇です。ふたつのお芝居の間に、◆アニメイムで遊ぼう◆というコーナーが入ります。アンデルセンは156編もの童話や物語をかきました。子どもにも大人にも、どんな人にも悲しい時、つらい時、もちろん楽しいこともあるものです。そんな人々のお話を沢山書きました。「人生への優しい 眼差し」でかかれたお話を楽しみお芝居にしてみなさんへおくりします。

ものがたり

はじめのお話は

◆『パンをふんだ女の子』

きれいだけれど生意気で高慢なインゲル。靴を汚したくないためにぬかるみにパンを置いて、その上をふんで渡ろうとしたのですが沼の底に沈み、果ては地獄まで落ちていく。インゲルの救われる道は…。

◆アニメイムで遊ぼう！

さあ、アニメイムで遊ぼう！“輪くぐり”“ネズミレース”の参加ゲーム、元気な子出ておいで！そして、俳優たちが棒とボールと輪っかで、空中にアニメイム！

さあ、何の絵ができるかな？動物たちがイキイキと、舞台せましと走り回り、息もつかせず続きます。

そして、おしまいのお話は？

◆『とうさんのすることはみんなよし』

家でいらなくなった馬をなにかいいものにとりかえようと出かけていくとうさん。途中、色々なものにとりかえていき、最後は腐ったリンゴに…

さあ、家で待つかあさんはどうするか？

この劇の特色

アニメイムってなに!?

アニメイムというのは、演出家 関矢幸雄氏の考案によるもので“アニメーション”と“パントマイム”からの造語です。身近にある棒とボールと輪という単純なものを使って、みんなの目に見える前で空間に風景や動物の絵を描いていきます。



ジャンルにこだわらない!?

舞台劇とか人形劇とかいうジャンルにとらわれない自由な発想の作品です。アニメイム、ペーパークラフト(等身大の板人形)などを使って、コーラスと手話と、素劇(ほとんどものを使わず人間の身体のみで表現)で進めていきます。



♪ あとむのうた

作詞・作曲 クニ河内

あとむのあは遊びのあ
 あとむのとは時計のと
 あとむのむは夢中のむ
 夢中で遊ぶ時間です

あとむのあは明日のあ
 あとむのとは扉のと
 あとむのむは向こうのむ
 扉の向こうに明日が見える

アカペラ・コーラス!

なんといっても見る人の心をつかむのは9人の俳優(妖精)たちが、このお話をアカペラコーラスで歌って進めていくところです。もちろん、マイクなどは使わず、すべて生声。美しいハーモニーを楽しんで下さい。



童話の王様 アンデルセン ~「人生で三度読め」といわれるアンデルセンの童話~



上演作品の原作者、H.C.アンデルセンは、2005年に生誕200年を迎えました。彼はデンマークの貧しい家庭に生まれながらも、多くの人の助けにより勉強し、生涯156編の童話をかきました。『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』のお話には、ほとんど原典の香りそのままに完訳したものを脚本とし、構成しています。「人生で三度読め」といわれるアンデルセンの童話。

“子どもには楽しく

大人になっては味わい深く、

老いては人生の素晴らしさを しみじみと感じさせてくれる”

ぜひ、みなさんも、アンデルセンの本を読んで下さい。